

普遍的な視点からの取組

第1学年 総合的な学習の時間 ◇「障害者」に関わる取組

単元名 「共に生きる社会をつくるために」

目標

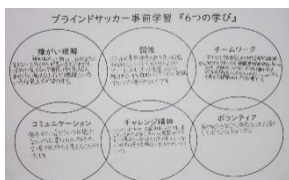
交流・体験活動、調べ活動等を通して、障害について理解するとともに、障害者の現状を考え、すべての人が互いの人権を尊重しつつ、誰もが住みよい社会の創造に参画しようとする態度を育てる。

人権教育の視点

交流・体験、調べ学習等を通して、障害について正しい理解を深めさせるとともに、共生社会の実現ために必要な知識や態度を育てる。

学習活動

社会の中でどのような人がどのようなことに困っているか考え、障害がある・ないにかかわらず、誰もが住みやすくしていくためにはどのような行動・考え方が大切か考える。



特別支援学級 学級活動 ◇「多様な人権課題」に関わる取組

題材 「自分らしい生き方ってなんだろう」(男女平等参画啓発誌 新宿区)

ねらい

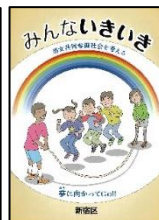
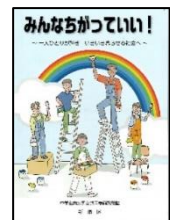
集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するために、多様性をテーマとして、日々の生活を振り返り、「自分らしさ」について主体的に考え、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする態度を育てる。

人権教育の視点

「自分らしさ」とは何かを考える活動を通して、自己を見つめ、個性を伸ばして充実した生き方を追究しようとする態度を育てる。

学習活動

講義や個人・グループワークなどをバランス良く組み込み、視覚的支援を取り入れながら、「自分らしさ」について考え、個性について理解するとともに、自他の個性や能力を発揮することができる社会を形成していこうとする態度を育む。



全校生徒対象 ◇「子供」に関わる取組

題材 「生徒の人権に関する校長講話」

目標

子どもの権利が守られていない現状や、権利が守られることの大切さに気付かせ、主体的に行動しようとする子供を育成する。

人権教育の視点

自身の身の回りにおいて、何気ないきっかけから「人権侵害」が起こり得ることやその理不尽さについて考える活動を通して、偏見や差別を許さないという心情を育む。

学習活動

学校朝礼で校長より人権課題「子供」に関わる講話や「命の大切さ」「体罰」について講話した。仲間の困り感や悩みに気付き、相手の立場に立って考えられるようになって欲しいと伝えた。



個別的な視点からの取組

第1学年 特別の教科 道徳 ◇「女性」

主題名 「男女の協力」(『平成26年人権教育プログラム』)

資料名: がんばれ応援団長

【B 友情、信頼】

ねらい

応援団をみんなで作り上げていこうとする主人公の気持ちに共感することを通して、友達と互いに高め合い、協力し合おうとする心情を育てる。

人権教育の視点

主人公の気持ちに共感し、友達と協力することについて話し合うことを通して、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、信頼関係を基に、正しい理解と友情を育て、男女が協力して助け合おうとする態度を育てる。

学習活動

「がんばれ応援団長」を読み、現代社会の固定的な性別役割分担について考え、人それぞれのよさについて考える。